

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成28年8月18日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4675400073
法人名	医療法人一桜会
事業所名	さくらのお家
所在地	鹿児島県始良市蒲生町上久徳2511-2 (電話) 0995-52-8129
自己評価作成日	平成28年7月1日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成28年8月9日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

さくらのお家は、伝統的な街並みの中の、静かで過ごしやすい場所にあります。利用者お一人お一人の生活パターンを大切にしながら過ごす中で日常的にサロンやドライブに出掛けています。また四季を感じて頂けるよう管理栄養士の立てた献立をもとに食事の提供、花見・節分などの行事を行っています。医療面では母体のクリニックから医療連携や在総でほぼ毎日医師や看護師が来所して救急時の対応もすぐに行えるようにしている。地域との交流にも力を入れており、地域行事への参加だけでなく事業所の行事にも参加いただいたり、また緊急時の協力体制も作り上げています。GHは地域にあり続けることを念頭において、地域の方に行事に参加を頂くべく促している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

蒲生町の中心部に近く、住宅街に溶け込んだ民家のような佇まいのグループホームである。法人は母体である医療機関をはじめとして通所リハ事業所・居宅介護支援事業所・グループホーム・小規模多機能ホームを運営して長年医療と高齢者福祉に携わっている。地域と密着した運営を目指しており、グループホームも開設時より自治会に加入して清掃作業や花見などの地域行事の手伝いに職員が積極的に参加し、利用者も運動会見学やサロンへの参加などで地域社会と閉ざされることなく交流がなされている。また、近隣の方々を招待してのホーム主催の夕涼み会は回覧板を利用したり個別訪問して案内しており毎回多数の参加が得られている。日常のあいさつや野菜のおすそわけなどもあり、住宅街に溶け込んで地域と良好な関係が築かれている。職員はケアマネジャー・介護福祉士・准看護師と全員が有資格者で知識と経験の豊富な職員が確保されている。今年度は職員と利用者の入れ替わりもあり、外出支援等利用者へのサービスがなかなか困難な時期もあったが、現在は職員体制も整いつつあり、今後は利用者及び家族との信頼関係の構築に努めて意見や要望を言い易い関係作りを目指すなどホームの現状や問題点などをしっかりと見極めた更なる質の向上を目指している。今後の取り組みにおおいに期待できるグループホームである。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	ミーティングや朝の申し送り時、日々のケアの中で、理念に基づいたケアが実践できているかを常に話し合い、共有しながら取り組んでいる。	法人運営のグループホーム2ヶ所共通の理念となっている。理念は玄関に掲示して重要事項説明書にも明記されている。日常の業務で確認することもあり、理念の共有と実践に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人員として日常的に交流している	自治会へ加入し、地域の清掃や花見・運動会への参加、各地区へのサロンへの参加。事業所の行事（夕涼み会・防災訓練等）に参加して頂いている。	自治会に加入しており、地域行事の手伝い等にも職員が積極的に参加して地域交流に努めている。また、利用者も地域の運動会見学やサロンへの参加などで地域とつながりながら生活している。ホームの夕涼み会には毎年地域住民を招待しており案内を回覧板を利用するなどしている。中学生・高校生の実習の受け入れも行っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	運営推進会議を通じて、認知症についての話の共有や介護保険についての説明を行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1度会議を開催しており、得られた意見を生かしている。また、年1回は家族会と一緒に開催し意見交換をしている。	公民館長・民生委員・地域住民・家族・消防署員・地域包括職員等の参加で2ヶ月に1回開催している。ホームからの状況報告や地域・行政からの情報交換等が話し合われている。家族の参加がなかなか得られない現状があり家族会と合同で行って参加を促している。また、避難訓練時に行うこともあり外部者の気づきなどホームの安全対策にも活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議への参加を促す形で協力関係や理解をして頂いている。また、地域の福祉事業所と団体を作りそこに市町村職員も入って地域福祉に努めている。	運営推進会議に参加してもらっており、ホームの実情や取り組みを伝えている。また、蒲生地区主催の認知症サポーター講座や徘徊模擬訓練、小学生対象の福祉教室等にも協働して取り組んでいる。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	GH内において、身体拘束に関する勉強会を行い、共通認識をもち、身体拘束のないケアに取り組んでいる。法人内に身体拘束廃止委員会を設置している。	法人の身体拘束廃止委員会が設置されておりホームからも参加して毎月勉強会を実施している。日中は玄関やテラスへの出入り口など施錠はせずに職員の見守りと連携で拘束のない生活を支援している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	具体的な虐待の映像を元にGH内の勉強会を行い、防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	全体ミーティングにおいて外部から講師を呼び、権利擁護に関する講義を行ってもらっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時、重要事項説明書を家族に理解頂けるよう説明と同意を頂き、質問がある場合は随時受け付けている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者からの不満などが伝えやすい雰囲気、関係づくりを行っている。また、家族の来訪時等意見が言いやすい関係づくりに努めている。出された意見については随時話し合い解決策を見出し出している。	日常の面会時、電話連絡時、年2回の家族会時等に家族から意見・要望などを聞き取っている。出された意見・要望については真摯に受け止め改善に繋げているが今年度は利用者及び職員の入れ替わりがあり馴染みの関係が築かれていないと感じることもある。	面会時や遠方の家族には電話連絡時に意見・要望を聞き出すように努めている。今後も何でも言いやすい関係作りへの工夫と信頼関係の構築に期待したい。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	部署ミーティングや意見交換が述べやすい雰囲気作りを実践し、改善出来る部分に関しては可能な範囲で改善に取り組み、運営・サービスの向上に努めている。	全体の職員会議やユニットごとの会議でサービス内容の提案や改善課題等を話し合っている。法人は職員の資格取得にも積極的に職員全員が介護福祉士・ケアマネ・准看護師と有資格者で知識と経験の豊富な職員を確保している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	勤務状況や労働時間、やりがいなど職員が向上心を持って働けるように就業環境の整備に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修への参加、業務を行いながらの人材育成に取り組んでいる。法人内研修も積極的に取り入れている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>始良伊佐GH協議会への参加やスタッフ同士の交流会を通じて悩みを共有したり、親睦を図ったりしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>話しやすい雰囲気作りを心掛け、本人の話しに耳を傾け、信頼関係構築に取り組んでいる。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>ご家族より相談しやすいように近況の報告を行ったり、不安・要望等に耳を傾けながら、関係づくりに取り組んでいる。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>入居者の現状を判断し、必要に応じて、専門医の受診を促すなど対応をしている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>入居者の思いや不安・喜びを共に分かち合い、意思を尊重し協働しながら生活が送れるように言葉かけを行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	他科受診時にご家族の支援をもらい、また法人の受診においても時には支援をもらうなどしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族との外出、ドライブなどなじみの人や場所との関係が途切れないように支援に努めている。地域のサロンに参加し、地域の方々との交流を図っている。	入居前からの美容室の利用や出身地のサロンなど職員が連れて行きこれまでの関係が途切れないように支援している。また、家族の協力をもらって墓参り・一時帰宅・外泊も行っている。友人知人の訪問もあり、訪ねやすい雰囲気作りにも配慮している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士話しがしやすい様な環境作りに努め、またテーブルにおける席の配置にも気をばっている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院中はお見舞いに行ったりして、本人様と話しをする。退院後のことなどはご家族の相談に乗る様に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の生活の中で本人の思いを大切にし、また家族からの情報を参考にして、本人本位の生活ができるように努めている。	入居時の聞き取りや日常の会話で思いや意向などを聞いて個々にホームでの生活が楽しめるように支援している。会話が困難な場合は表情、言動、家族や関係者からの情報等で本人本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人の話しやご家族や知人の方からの情報などで今までの生活を知り、大切にしてきたことを続けられるように支援している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日バイタルチェックをし、利用者一人一人の生活リズムにあった生活ができるように支援している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人、ご家族の要望を聞き、主治医、看護師、スタッフの意見交換しながら、情報を収集して介護計画の作成をしている。また、ミーティングを通じてのカンファレンスにおいても同様にしている。	本人・家族の意向や思いなどを聞いて個々に応じた個別の介護計画を作成している。サロンへの参加による社会との関係継続や家族の役割としての内容等も盛り込まれて地域密着型サービスのグループホームらしい介護計画を作成している。変化があれば都度見直しを行い、変化がなくても定期的に見直しを行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別ケア記録に日々の様子を記録し、スタッフ間での情報を共有している。スタッフによるアセスメントにより介護計画の見直しに生かしている。また、連絡ノートを通じての共有も実施している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人に必要な事柄をスタッフ間で話し合い、ご要望に応じられるように努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	安心な生活ができるように運営推進委員や民生委員・地域の方も参加する防災訓練も実施している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	定期検査、週2回の医連、月2回の在総を行っている。緊急時の対応もすぐに行っている。	本人・家族の同意のうえ、ほとんどの利用者が法人の医師がかかりつけ医となっており、24時間連携が図られている。また、看護師による健康管理が密に行われている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>医連看護師や現場看護師、また在総時にも伝え相談し主治医と連携し支援を行っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>利用者・ご家族に不安を抱かせないように医療関係者と十分情報交換を行い、安心して治療ができるように支援している。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重要事項説明書で説明をしており、早い段階から利用者ご家族等と話し合いをし、十分に理解を頂き、医療機関と連携をとりながら、支援を行っている。</p>	<p>重度化及び看取りに関する指針を作成して入居時に説明している。入居後は利用者の身体状況に伴い主治医の判断のもと家族と方向性を共有してホームでできる最大限の支援に取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>法人研修、避難訓練時に消防、看護師の指導の下、緊急蘇生法や対応を学び、急変・事故発生時に備えている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>災害発生時の対応マニュアルを作成している。年2回の防災訓練を実施し、地域の方々の参加を促し、協力体制を築いている。</p>	<p>年2回昼夜間想定で避難訓練をおこなっている。運営推進会議と合同で行うこともあり地域住民の参加も得られている。また、夜間の対策として外に防災半鐘も設置している。自動通報装置・スプリンクラーは設置されており備蓄も確保されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人一人の人格に配慮した言葉かけ・対応をし、プライバシーを損ねないように努めている。	毎月のミーティング時に機会を捉えては話し合いを行っている。利用者の性格や個性を大切にした対応に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中で選択する時は一人一人に声を掛け、決定してもらうように努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人一人のペースを大切にし、本人の希望や状態に沿って支援を行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	カットは美容室の方に来てもらったり、近所に行ってカットしたりしている。洋服に関しては自宅からご家族に準備してもらったりしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	管理栄養士作成の献立に基づき色合い等考慮し、盛り付けている。簡単な片付け等して頂いている。	法人の管理栄養士の作成した献立となっており栄養バランスのいい家庭的な食事となっている。年2回の家族会時は家族も共に食事をしてもらっている。弁当持参の季節の花見や外食にも出かけ、気候のいい時期はテラスでお茶を楽しむなど「食」が楽しめるように趣向を凝らしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランス・食事量と一日を通じて摂取して頂くよう支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	声掛け・見守り・介助で個々のレベルによって支援している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	状態に応じて見守り・ポータブルトイレ使用等支援している。できるだけトイレで排泄して頂けるよう排泄リズムを把握し援助している。	日中は心身状況に問題がない限りトイレでの排泄を支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事量・排泄パターンを一人一人把握している。状態によっては医師の指示で下剤を使用している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	一日おきの入浴にしているが、体調やその他の状況に応じて支援している。	基本的には週3回としているが本人の身体状況や要望に合わせて柔軟に対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	居室の明るさや室温に気をつけて個別的に支援している。必要に応じて安定剤も服用している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋のファイルを作成し、職員全員で内容を把握している。法人全体で予薬マニュアルを作成し、誤薬防止に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯物畳みや新聞たたみなど自分でできることを行っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	家族と協力しながら、墓参り・温泉・外食と出掛けられるよう支援している。ドライブは季節に応じて計画し、楽しんで頂けるようにしている。	職員の入れ替わりで体制が整わない状況がしばしばあり、外出支援がなかなかできなかったが、ホーム周辺の散歩やドライブなど機会を捉えては外出できるように努めている。また、地域行事見学、サロン、季節の花見に出かけたり家族の協力をもらいながら個別の外出も行われている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>数人の方が自分でお金を管理されている。スタッフに購入して欲しいものとお金を渡される。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>自分持ちの携帯がある方やもっていない方は事業所の回線を使用している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>毎日のトイレ・居室・リビングの掃除。暑い時はクーラーにて温度調整をしている。七夕の時は室内に笹を用意して飾り付けをしている。</p>	<p>ホームの中は木をふんだんに使用して落ち着いた雰囲気の造りとなっている。トイレ・玄関・廊下も車椅子でも充分に対応できる広さを確保している。リビングからはテラスに自由に入りできるため閉塞感を与えることがない。テレビの前に大きなソファが置かれて居心地よく過ごせる共用空間となっている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>テーブル席の配置を工夫したり、その方が座る場所を認識している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時は使い慣れた物を持参頂き、本人の部屋へ入室の際は一言断りを入れてから入室するなどその方の空間を大切にしている。	テレビ、タンス、家族の写真やお気に入りの飾り物などが持ち込まれて居心地よく過ごせるように配慮されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室には鍵を使用したり、ペーパータオルとタオルを共用したりしている。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない